

いしかわ版道徳教材

「ふるさとがはぐくむ どうとくいしかわ」

(中学校)

【指導案】

1 A案

教材名：お椀の花びら

主題名：家族への敬愛の気持ち

内容項目：C（14）家族愛，家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 家族の一員としての自覚をもち、父母、祖父母を敬愛し、充実した家庭生活を築こうとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を視聴し、教材についての興味関心を高める。

- ① 映像資料を見て感じたことを話し合しましょう。

- ・手間がかかっているな
- ・高級そうで普段使わない
- ・修理できるのがすごい
- ・歴史を感じる
- ・使いやすいのかな

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 父がお椀を修理しようとしたのはなぜでしょう。

- ・祖父母のお互いを思いやる気持ちを大切にされたかった
- ・祖父母が大切にしていたお椀を受け継いでいきたかった
- ・家業である輪島塗のよさについて子どもたちに伝えたかった

- ③ お椀の修理をきっかけに家族みんなが輪島塗のお椀を使うことになったのはなぜでしょう。

- ・お椀には祖父母や父の思いが詰まっていると気付いたから
- ・お椀を使うことで祖父母や父の思いを大切にできると思ったから
- ・みんなでお椀を使うことで家族の絆も深まるような気がしたから
- ・不便だと思っていた輪島塗のよさに気が付いたから

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 将来、自分が築きたい家庭をイメージしてみましょう。

- ・それぞれの立場を理解して思いやることのできる家庭
- ・苦しいときもみんなで協力して乗り越えられる家庭
- ・何でも話し合えたり行動したりできる、一緒にいると安心する家庭

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では、「自分の家族との関わり方について考えてみよう」と問いかけ、自分自身を見つめることも考えられるが、生徒の家族構成や家庭状況も把握し、十分な配慮をして指導を行う必要がある。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「1 お椀の花びら」

1 B案

教材名：お椀の花びら	
主題名：我が国の伝統と文化の継承	内容項目：C (17) 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度

1 **ねらい** 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しようとする実践意欲と態度を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 映像資料「輪島塗作品」を見て伝統工芸について知る。</p> <p>① 輪島塗以外にあなたの知っている伝統工芸や文化はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 九谷焼・ 加賀友禅・ 和菓子・ 和紙・ 折り紙 <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 「輪島塗」には今の時代に合わないところもあるのに、現在に継承されているのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昔の人の知恵が生かされていて、価値があるものだから・ その土地の人々が大事に受け継いできたから・ 時代に左右されない大事なものがあるから・ 修理しながら使い続けていくことができる物だから <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>③ これからあなたは、伝統工芸や文化にどのように向き合っていけばいいと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昔の人々から受け継がれた知恵や技術を守っていく・ 積極的に伝統工芸のよさを取り入れたり、伝統行事にも参加したりしていく・ 時代に左右されない部分を大切にしながらも、時代に合わせた変化も求めていく <p>◇ 地域の伝統行事や伝統工芸品などの映像を鑑賞する。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ①では実物を見せて教材理解への導入としてもよい。
- ・ ③では理由も併せて発言させる。「受け継がれてきた伝統を守っていく」「現代のニーズに合わせて発展させながら継承していく」などの意見を対比したり、分類したり、関連させたりしながら板書していくとよい。また、他の伝統工芸や文化（加賀棒茶など）を例に出して考えさせるとイメージしやすい。
- ・ 終末の映像には生徒などが地域の伝統行事に参加している様子や、時代に合わせた伝統工芸品の紹介をするのもよい。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（中学校）「1 お椀の花びら」

2 A案

教材名：箔の聖地	
主題名：困難に立ち向かう強い意志	内容項目：A (4) 希望と勇気、 克己と強い意志

- 1 **ねらい** 目標を実現するために希望と勇気をもって実行し、困難に屈せず、粘り強く最後までやり抜こうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 映像資料を視聴し、教材についての興味関心を高める。</p> <p>① 「金沢箔」の製造工程を見てどのような印象を持ちましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・こんなに薄く伸ばしているんだなあ、すごい・機械で作業しているけど、昔は全て手作業だったんだ、大変そう <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 彦太郎が箔の機械化に取り組んだのはどのような考えからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・美しい金沢箔をもっと広めたいと考えたから・箔の将来の発展のためには、量産とそのため機械化が必要だと考えたから <p>③ 30年間も挑戦し続けられたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・両親や祖母に誓ったことだから、何としてでもやり遂げたい・先人が作り上げてきた美しい金沢箔をもっと広めていきたい・金沢箔の美しさを日本や世界にまで広げるためには、機械化がどうしても必要だ・途中であきらめてしまうと夢は実現しない 夢の実現に向けて頑張りたい <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ 彦太郎の生き方についてどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・1つのことをやり遂げようと決めたのなら、困難があってもあきらめずに、何とか解決策を考えて、前に進んでいったのがすごい・目標を実現するには、時間がかかったとしても、あきらめずに粘り強くやり続ける強い気持ちはすごい でも30年間も同じことをやり続けるのは難しい自分だったら挫折してしまいそうだ <p>◇ 教師の説話を聞く。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、より美しい金沢箔を作りたい、金沢を特産地にしたいという彦太郎の考えや意図を押さえる。
- ・④では、「自分にはできない、難しい」というような意見が出た場合、登場人物の行為ではなく心に目を向けさせる。例えば「失敗と思わずに成功につなげていく気持ちが強いのか」「負けない精神力が強いのか」など強さを多面的・多角的に捉えるように促す。そして、「みんなの中にもこんな心は少しはあるの？」と問い、登場人物との接点を見いだせるようにすることで、他人事に終わらず、自分事として考えられるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「2 箔の聖地」

2 B案

教材名：箔の聖地	
主題名：伝統と文化の尊重	内容項目：C(17)我が国の伝統と文化の尊重， 国を愛する態度

- 1 ねらい 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めようとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 伝統について考える。</p> <p>① 身近にある伝統文化（例：工芸、風習、芸術など）には何がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・お祭り・漆器・友禅・茶道や華道・和太鼓
<p>◇ 教材を読んで話し合う</p> <p>② 彦太郎が反対されながらも箔打ちの機械化を目指したのはなぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢を日本一の金箔の生産地にしたいから・金沢の金箔を全国に広めたいから・箔の将来を考えると機械化で生産量を増やすことが必要だと考えたから
<p>◇ 自分との関わりで考える</p> <p>③ 伝統を守っていくために大切なことは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・伝統のよさを広め、多くの人に知ってもらう・継続できるように時代に合わせた変化を受け入れる・変えても良い部分と変えてはいけない部分を見極める・伝統を受け継いできた人々の思いや情熱を大事にする

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では映像資料を視聴し、金沢金箔について理解を促す。
- ・②では機械化が反対されたにもかかわらず、機械化を目指した理由を考えさせるようにする。
- ・③では生徒が知っている伝統文化（①であげたものなど）を具体的に挙げると考えやすい。また、伝統を受け継ぎながらも、時代に合わせて、変化していく視点についても気付くように留意するとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2(中学校)「2 箔の聖地」

3 A案

教材名：南極をめざした日本人	
主題名：困難に立ち向かう強い意志	内容項目：A (4) 希望と勇気， 克己と強い意志

- 1 **ねらい** 自らの可能性を信じ、目標や理想に向かってあきらめずに、最後までやりとげようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 自分の目標について発表し、本時のテーマを知る。</p> <p>① 今の目標は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・部活動で、先輩のように上手になること・次の大会で優勝すること・次のテストで〇点を取ること <p>② 今日は、目標を達成することについて考えていきましょう。</p>
<p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>③ 「いったん引き返す」と決断した時、野村船長はどんなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none">・せっかくここまで頑張ってきたのに、くやしい・目の前まで来たけれど、みんなの命が危ないからここは引き返そう・くやしいけど、いったん引き返して次の機会を待とう・次の機会が来るまで、準備できることはないか考えよう <p>④ どうして野村船長は南極上陸を達成させることができたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・最初の失敗であきらめずに、成功するまで頑張る気持ちがあったから・2回目にはきちんと準備をして、同じ失敗を繰り返さないようにしていたから
<p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>⑤ 目標を達成する時に大切なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none">・失敗から自分の足りなかったところを反省すること・同じ失敗を繰り返さないように、準備や計画をしっかりとすること・一度の失敗であきらめずに、次のチャンスに生かすことができるよう頑張ること <p>⑥ 今日の授業を通してあなたが学んだことを振り返ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・すぐにあきらめずに、何度も挑戦する・毎日、目標を持って頑張る

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、事前にアンケートを取っておいて、その集計を活用することも考えられる。
- ・教材を読む際には、地図や写真を活用し、南極に行くことがいかに困難であったかを示す。
- ・②で「野村船長の目標は何？」と確認し、今日のテーマとのつながりを意識させる。
- ・④の補助発問として「成功させるためにどんな努力をしたのだろうか」と聞くこともできる。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「3 南極をめざした日本人」

3 B案

教材名：南極をめざした日本人

主題名：自分で考え実行し、責任をもつ

内容項目：A (1) 自主, 自律, 自由と責任

1 **ねらい** 自主的に考え判断し、誠実に実行して、その結果に責任をもとうとする判断力を養う。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 南極に行くことがいかに困難であったかを知り、感想を伝え合う。

（この段階では映像資料ではなく写真や地図を活用する。）

- ・南極に着くまでには大変なことがあっただろうな
- ・何ヶ月間もかかる上に、命をかけているのはすごい

◇ 教材（最初からP7まで）を読んで話し合う。

① あなたが野村船長なら、この後どうしますか。それはなぜですか。

- ・このまま進む 危険はあるかもしれないけれども、成功する可能性もあるから
- ・このまま進む 夢にまで見た南極大陸なのであきらめきれない
- ・引き返す 船員の命が大事だから、やむを得ない
- ・決めるのは簡単ではない 仲間と話し合い、意見を参考にして決める

◇ 教材（P8から最後まで）を読んで話し合う。

② 野村船長の判断についてどう思いますか。

- ・船長として、みんなの期待にこたえたいけど、命を守る責任もあり、迷ったと思うが、正しい判断ができたのがすごい
- ・みんなから「進みたい」という意見があったと思うが、船長として大切なものは何かを見失わず、自分で考えて決めたのが素晴らしい
- ・あきらめるのはつらかったと思う 進みたいという気持ちだけで決めなかったのが大切だと思った

◇ 映像資料を視聴する。

◇ 自分自身を見つめる。

③ あなたは、物事を判断するとき、大切なことは何だと思いますか。今日の授業を通して考えたことと合わせて書きましょう。

- ・状況を観察したり情報を集めたりして、適切な判断ができるようにする
- ・優先順位を考え、深く考え判断する 下した決断には責任をもつ
- ・他の人の意見を聞くなど、客観的に物事を捉える視点をもつ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・後半では、教材から離れて、時事や学校生活などの事例を活用し、実際の場面でどのように判断をするのかを考え、話し合うことも効果的である。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「3 南極をめざした日本人」

4 A案

教材名：能登流	
主題名：克己と強い意志	内容項目：A（4） 希望と勇気、 克己と強い意志

- 1 **ねらい** より高い目標を設定し、その達成を目指し希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 映像資料「糶造り・酒造り」を視聴し、酒造りの様子を理解する。（ただしインタビューはここでは見ない）</p> <p>① 酒造りについてどのような印象をもちましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・みんな慌ただしく働いていた・気を抜けない仕事に見える・温度計で温度を何度も確認していて大変そうだった・チームワークが大切な仕事 <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 親方の「お前だから任せたんや」という言葉を「私」はどんな気持ちで受け止めたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の努力を認めてくれていた親方に申し訳ないことをした・自分の仕事に対して無責任だったことを悔やんだ・これまでの努力を無駄にすることをしてしまって後悔している・親方の信頼を裏切ってしまったて恥ずかしい・仕事よりも友人と会うことを優先させてしまったことを後悔した <p>③ 杜氏の仕事が大変であるにもかかわらず、なぜ更に努力を続けていこうという気持ちになれたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・初心に戻って、杜氏を目指した時の気持ちを大切にしたいと思ったから・立派な杜氏になることが親方の気持ちに報いることだと思ったから・目標を最後まであきらめなくなかったから・失敗を生かすことで更に良い杜氏になれると思ったから <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ あなたがこれから「目標」を達成するためにどんなことを大切にしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・失敗してもくじけずに努力したい・休まずに努力を重ねていく・失敗も生かせると信じる・くじけそうになったら初心に戻る

3 指導上の留意点及び工夫

- ・目標達成に終わりではなく、いつまでもよりよいものを求めて努力する大切さや、失敗をしてもそれを糧として生かすことができることに気付くように促していく。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「4 能登流～能登杜氏の仕事～」

4 B案

教材名：能登流	
主題名：強い意志	内容項目：A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志

- 1 **ねらい** より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 映像資料を視聴し、酒造りの仕事の様子を理解する。</p> <p>① 酒造りにはどんな仕事があるか知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・手がかかる仕事をしている・気の抜けない仕事なんだなあ・この仕事の最高責任者が杜氏なのか <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 酒造りの職人として働く私の生き方をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・つらい下働きや米を蒸す仕事、相麴、地味な仕事を何年も丁寧に取り組んでいるところがすごい もっとおいしい酒を造りたいと思いつけているところが素敵だと思った・少くくらい大丈夫、という気持ちはよく分かる 失敗したときの「お前だから任せたんや」という親方の言葉は深く胸に刺さったと思うけど、失敗したことを次の努力で成長につなげたところがすごいと思った・目標や夢を実現するには苦しみも多いが、やり続けることに価値があるし、やり遂げたときに達成感が味わえると思う 自分の仕事を誇りに思えるって素敵だ・あこがれや目標を持って仕事をするから、更に成長できるのだと思った 自分も「私」のように、目標を決めて〇〇に取り組んでいきたい <p>◇ 今日の授業を振り返る。</p> <p>③ 話合いを通してどんなことを感じたり、考えたりしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・目標や夢は達成したら終わりではなく、次の新しい目標や夢が見えてくるのだと分かった・簡単に達成できる目標もあればなかなか達成できない目標もある 困難があっても、勇気を持って努力を重ねていくことを大切にしたい・自分を誇りに思えるような生き方をしたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、酒造りの仕事の大まかな工程や大変さ、このような酒造りの仕事の最高責任者が杜氏であることを押さえ、教材への関心意欲を高める。
- ・②では目標達成に終わりではなく、よりよいものを求めて努力する大切さや、失敗をしてもそれを糧として生かせることに気付くように促していく。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「4 能登流～能登杜氏の仕事～」

5 A案

教材名：あたらしい九谷焼	
主題名：新しいものを求めて	内容項目：C (16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度

- 1 **ねらい** 郷土の伝統や文化を大切に発展させてきた先人の思いを知り、自ら地域社会の一員として郷土の伝統と文化を愛し、進んで発展に努めようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 九谷焼のイメージについて話し合い、映像資料で徳田八十吉の作品を鑑賞する。</p> <p>① これらの作品を見て、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・石川県の伝統工芸だ・家にも九谷焼がある・八十吉の作品は九谷焼ではないみたい・八十吉の作品は色がきれい
<p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 八十吉は最初、継ぐ気はなかったのにどうして九谷焼の道を選んだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分しか受け継いでいく者がいないのに、自分が継がなければ徳田家の色が絶えてしまうと思ったから・祖父が長い年月をかけて再現し、守ってきた古九谷の色への思いがわかったから自分が受け継いでいきたいと思ったから・徳田家の釉薬の調合方法を受け継いで、自分らしい九谷焼の作品をつくってみたかったから
<p>③ 八十吉はどのようなやり方で九谷焼を引き継いでいったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・宝石のような輝きを出すために、新しい手法を取り入れた・最新の技術を取り入れた・時代に合った絵を描いた
<p>◇ 今日の授業で感じたことや考えたことを振り返る。</p> <p>④ 「八十吉の伝統の引き継ぎ方」についてあなたはどのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・今まで、昔から受け継がれてきた技術を大切に守っていくことが大切だと思っていたけれども、八十吉のように、時代の流れに合わせて変化させていくことも必要だと気付いた

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、映像資料を使って作品を見せ、徳田八十吉の作品が他の作品と作風が違っていることに気付かせる。
- ・八十吉の作品に対して評価が分かれていることを押さえながら④につなげる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校高学年）「2 ジャパン・クタニを生んだ九谷庄三」

5 B案

教材名：あたらしい九谷焼

主題名：新しいものを求めて

内容項目：A (5) 真理の探究, 創造

1 ねらい 進んで新しいものを求めることの素晴らしさを理解し、自らの生き方に生かしていこうとする心情を育てる。

2 授業展開例 (ゲストティーチャーをGTと示す)

学習活動 (主な発問と予想される生徒の反応)

◇ 新しいものを創造するためには何が必要かを考える。

① 何か新しいものを創り出すためには何が必要でしょう。

- ・夢をもつこと
- ・努力
- ・何があってもあきらめない心

◇ 映像資料で徳田八十吉の作品を鑑賞し、教材を読んで話し合う。

② 八十吉は「新しい九谷焼」を創り出すまでに、どのような道のりをたどったのでしょうか。

- ・焼き物の道を歩もうと決意したけど、どんな九谷焼をつくれればよいか迷った
- ・宝石の輝きを九谷焼に取り入れられないか、長い年月試行錯誤した
- ・日展に入選した後も、さらにきれいな色づくりに熱中した
- ・ある陶芸家に「塗りつぶした作品のほうが君らしい」と言われたことで、グラデーションの作風につながるきっかけをもらった
- ・四色の釉薬から200以上の中間色を創り出したり、最新の電気窯を使ったりした

③ 八十吉の歩んだ道から考えると、今までにない新しいものを創り出すためには何が大切でしょう。

- ・迷いながらも、よりよいものを目指して、納得がいくまでいろいろ試してみる
- ・いろいろなことに興味を持ったり、人の話をまじめに聞き柔軟な考え方をしたりする
- ・自分が追い求める疑問をひたむきに探究し続ける姿勢を維持する
- ・わからないことにこだわり続けたり、これまででないものを想像したりする、そして、それを楽しむ
- ・必ず、やり遂げるという気持ちを持ち続け、夢や理想が実現したときのことをイメージし、そのための手段や具体的な作業を考える

◇ GTの話聞き、何かを創造することの楽しさや困難さについてさらに考える。

◇ 今日の授業で感じたことや考えたことを振り返る。

④ 八十吉の生き方やGTからどんなことを学んだり、考えたりしましたか。

- ・好奇心を持ち続けることが必要だ。もっと知りたい、こうやったらどうなるのかという興味が、新しいものを生み出すもとなるから
- ・現状に満足せず、常によりよいものや工夫を求める姿勢が大切だ。満足してしまったり向上しなくなってしまうから、また、そうすることが喜びにつながり人生を豊かにしてくれる

3 指導上の留意点及び工夫

- ・映像資料を活用し、古九谷と「新しい九谷焼」を比較し、その違いに気付かせることで問題意識を持たせることも考えられる。
- ・GTには、九谷焼作家にこだわらず、何か新しいものやよりよいものを生み出そうと努力している方に語っていただくとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集 (小学校高学年) 「ジャパン・クタニを生んだ九谷庄三」

6 A案

教材名：『天下一の絵師』をめざして

主題名：あくなき向上心

内容項目：A (3) 向上心, 個性の伸長

- 1 **ねらい** 自己を見つめ、自己の向上心を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ **今、自分の興味が向いていることについて伝え合う。**

- ① あなたが興味関心をもっていたり、熱中していたり、やり遂げたいと思ったりしていることは何でしょう。
- ・部活でサッカーをするのが楽しい
 - ・習い事の書道が続けたいと思っている
 - ・ゲームをクリアすることに熱中している

◇ **教材を読んで話し合う。（映像資料を視聴する）**

- ② 七尾を旅立ったときの等伯は、どんなことを考えていたでしょう。
- ・能登では認められたが、京の都ではどうだろうか
 - ・京の都で、天下一の絵師を目指して学びたい
- ③ 「私が描きたい絵は、一体どんなものだろう」という、等伯の湧き上がってくる思いとはどんなものでしょう。
- ・天下一と言われるような、自分にしか描けない絵を描きたい
 - ・自分の美意識をとことん追求し、それを表現したい
 - ・どうして満足のいく絵を描くことができないのだろうか、と不安に思う

◇ **自分との関わりで考える。**

- ④ あなたが芸術家としての等伯の生き方から学んだことはどんなことでしょうか。
- ・自分らしさを伸ばすために、投げ出したりせず自分なりにがんばり続けること
 - ・苦しいときも、よくなりたくて願って、学び続けたり、やり続けたりすること
 - ・妥協をせずに、理想を追い求め続けることで多くの人を感動させることができるということ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では事前にアンケートをとり、その結果を提示する。この段階でゲームや漫画と答えた生徒が、本時の最後には自分自身を改めて見つめ直すことができるように留意する。
- ・②で教材を読む前に、映像資料を視聴し、長谷川等伯についてのたまかな理解を図る。また「松林図屏風」が日本の水墨画の最高傑作の一つであることを押さえる。
- ・③では、学んでも学んでも満足できない等伯のイメージを膨らませ、グループ等で話し合いながらじっくり考えさせる。
- ・④では、芸術家としての等伯の「向上心」や「個性の追求」の在り方に基づいて、生徒自身の生き方や考え方に照らし合わせて考えられるように配慮する。

4 参考資料

・映像資料集2（中学校）「6 『天下一の絵師』をめざして」

6 B案

教材名：『天下一の絵師』をめざして

主題名：高みを目指して

内容項目：A (4) 希望と勇氣，
克己と強い意志

- 1 **ねらい** 高みを目指して、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ **国宝「松林図屏風」を見た印象を話し合う。**

① この絵の印象を話してください。

- ・濃淡があって奥深く見える
- ・松林の中にいるような感じがする
- ・こんな大きな作品どうやって描いたのだろう

◇ **教材を読んで話し合う**

② 「松林図屏風」が多くの人々の心をとらえるのはなぜでしょう。

- ・息子を失った悲しみを克服しようとする思いが伝わるから
- ・一見簡素に見えるが、濃淡で奥行きを感じさせるなどの手法が駆使されているから
- ・霞や霧の中の松林が見る人の想像力を膨らませるから
- ・等伯の絵を極めようとする思いが感じられるから

③ 等伯は死の間際までどうして絵を描き続けたのでしょうか。

- ・描けば描くほどもっと良い絵を描きたくなるから
- ・新しい目標が見えてくるから
- ・今の自分の絵に満足できないから
- ・絵を描くことが息子への思いを表現することになるから
- ・絵を描くことで充実した思いを得られるから

◇ **自分との関わりで考える**

④ 等伯の生き方に接して、あなたはどんなことを感じ取りましたか。

- ・等伯のように命をかけて1つのことに没頭する生き方はなかなかできないが、投げ出しそうな時にもう少し頑張ってみようと思えた
- ・今の自分にはできないが、これから様々なこんなに出会った時に、思い出して少しでも前向きになれるようにしたいと思った

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では映像資料を視聴し、長谷川等伯について作品とともに理解させる。また、「松林図屏風」が水墨画の最高傑作であることも押さえておく。
- ・④では絵師として認められながらもさらに高みを目指して絵を描き続けた等伯の生き方を理想や模範として提示するのではなく、自分との接点を見いだせるように促す。

4 参考資料

- ・映像資料集2(中学校)「6『天下一の絵師』をめざして」

7 A案

教材名：栄冠は君に輝く	
主題名：希望をもって	内容項目：A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志

1 ねらい 目標や希望をもち、困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 「栄冠」という言葉のイメージを考える。</p> <p>① 映像資料で『栄冠は君に輝く』を聴き、高校球児にとっての「栄冠」とは何かを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・試合に勝つこと・仲間と一緒に勝利をつかむこと <p>② あなたにとっての「栄冠」とは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・県大会で優勝すること・お金持ちになること・夢を叶えること <p>◇ 教材を読んで、話し合う。</p> <p>③ 20年前の甲子園で、「私」はどんな人に「栄冠」が輝くと思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・勝利をつかんだ人・ピンチを切り抜けた人 <p>④ 誰もいない部屋で、なぜ「私」は「ありがとうございます」と涙声でつぶやいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・新聞記事やボールのおかげで、過去の自分と向き合うことができたから・逃げていた自分に気付き、新しく踏み出す勇気をもらえたから・ボールや温かい言葉をくれた審判員の優しさを実感したから <p>⑤ 白球を追う球児たちに、「私」はどんな思いで「栄冠は“君”に輝く」とつぶやいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・努力を積み重ねてきた一人一人に、栄冠は輝くのだ・勝ち負けが大切なのではない、精一杯の試合をすることが大事なんだ <p>◇ 自分自身を見つめる。</p> <p>⑥ もう一度考えてみよう。あなたにとっての「栄冠」とは何だろう。また、それをつかみ取るために、どうすればよいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分にとっての栄冠は、夢を叶えること。嫌なことから逃げ出さない強い意志を持ちたい・自分にとっての栄冠は何なのかはまだわからないけれど、努力を続けることが大切だ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・「栄冠」に焦点化した発問構成となっている。「栄冠」とは勝者だけに与えられるものではなく、目標や夢を持ち、くじけずに努力を続ける人に与えられるものであると気付くことで、くじけない心やあきらめない強い意志の大切さについて、考えを深められるようにする。
- ・②の後に、「今日は、この『栄冠』について考えましょう」と方向付けをするとよい。
- ・⑥では導入での発問を再度活用することで、本時における変容を捉えられるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「7 栄冠は君に輝く」

7 B案

資料名：栄冠は君に輝く

主題名：自分と向き合う

内容項目：D (22) よりよく生きる喜び

- 1 **ねらい** 自分の弱さから逃げずに向き合い、希望をもって生きていこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 自分自身を見つめる。

- ① 自分の持つ様々な面について考えてみましょう。
- ・人前では明るいけれども、くよくよ考えたりすることがあるな
 - ・人見知りで、なかなか打ち解けるのが苦手だな
 - ・自分のことについてあまり考えたことないな

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 「私」は、なぜ20年間、段ボール箱を開けられなかったのでしょうか。
- ・振り返りたくない思い出だったから
 - ・つらい記憶がよみがえるのが怖かったから
- ③ 「私」の生き方を変えた出来事は何でしょう。
- ・新聞記事で加賀さんの生き方や熱い思いに触れたこと
 - ・つらい思い出から逃げてばかりではいけないと思い、20年間開けずにいた段ボール箱を開けたこと
 - ・サヨナラホームランを打たれたこと このつらさと向き合えたから強くなれた
 - ・球審の方に声をかけられ、ボールを渡してもらったこと
 - ・つらい思い出しかなかったボールに向かって「ありがとうございます。」と言えたこと

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 「自分自身を見つめる」とはどういうことでしょう。
- ・自分のよいところだけでなく、嫌なところにも目を向けて、逃げずに克服するために努力すること
 - ・過去の嫌な思い出から目を背けるのではなく、そこから学べることを生かして前に進むこと
 - ・自分自身を見つめることは難しく、恥ずかしいことだが、成長するには必要なこと

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、個人的な内容になるので配慮して進める必要がある。
- ・③では、グループでの話し合いを取り入れ、その後の全体交流では友達の考えでよいと思ったことを中心に交流を進めこともよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「7 栄冠は君に輝く」

8 A案

教材名：ルビーロマン

主題名：夢を追い求める心

内容項目：A（4）希望と勇気、
克己と強い意志

- 1 **ねらい** 目的や目標をもち、理想を求めて、力強く積極的に自己の人生を切り拓こうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇「夢」について話し合う。

- ① 将来の夢はありますか。夢をかなえるためにしていることはありますか。
- ・プロ野球の選手になるために、毎日素振りをしています
 - ・保育士になりたいので、ピアノの練習を頑張っています
 - ・はっきりした夢はないです

◇教材を読んで話し合う。

- ② 何度失敗しても何年も品種改良に取り組む「私」を、みんなはどう思いますか。
- ・反対されても研究を続けるなんてすごい人だ
 - ・絶対に新しいぶどうを開発しようという夢に向かっていて素晴らしい人だ
 - ・どうして、あきらめずに挑戦を続けられるのだろう
 - ・自分だったら、途中で投げ出してしまうと思う

- ③ 失敗が続いた時、「私」は、どのような思いだったのでしょうか。

- ・また、ダメか・・・ 赤いぶどうを作るのは無理なのか
- ・あきらめてしまっっては、新しいぶどうは作れない
- ・何か違う方法で再挑戦すれば、きっとできるはずだ
- ・石川の農業で、どうしても赤くて大粒のぶどうを作りたい

- ④ なぜ「私」は、あきらめずに目標に向かうことができたのでしょうか。

- ・何としても赤くて大きい新種のぶどうを作りたいという強い意志があったから
- ・「石川の農業」を変えるために、挑戦する気持ちを持ち続けたから
- ・仲間と励まし合ったり、新しい方法を話し合ったりして努力を続けたから

◇自分との関わりで考える。

- ⑤ 失敗や挫折を乗り越えるために、あなたはどのようにしていきたいですか。
- ・できないと思わずにできると思い続けたり、いろいろな人と話したりしたい
 - ・目標や夢は人を強くするから、あきらめずに工夫して頑張りたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、事前に調査した夢や理想についてのアンケートを活用することも考えられる。また、映像資料を活用し、ルビーロマンのイメージを明確にするとよい。

4 参考教材

- ・映像資料集（中学校）「8 ルビーロマン」

8 B案

教材名：ルビーロマン

主題名：新しいものを生み出す心

内容項目：A (5) 真理の探究, 創造

1 **ねらい** 自分自身の未来やよりよい社会を創るために探究心や好奇心をもって、新しいものを生み出そうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 「ルビーロマン」について知っていることを発表する。

① 「ルビーロマン」を知っていますか。

- ・高価なぶどう
- ・石川県で開発されたぶどう
- ・一粒が大きくて赤い色のぶどう

◇ 教材を読んで話し合う。

② 教材の中で印象に残ったところは、どこでしょう。

- ・長い年月がかかり、やっと誕生した貴重なブドウであることに感動した
- ・誰も賛成してくれる人がいない中、大変な作業をしてルビーロマンを誕生させたところ
- ・あきらめないで作業し続けた姿勢がまわりの人に伝わって、協力者が増えたところがすごい

③ なぜ、誰も見たこともない、完成するかも分からないルビーロマンの開発を続けようとしたのでしょうか。

- ・自分だけではなく、農家の人や高松さんの思いもあるから
- ・まだ見たこともない新しいぶどうを自分で生み出してみたかったから
- ・何度も失敗しているけれど、ここであきらめてしまったら新しいぶどうは生まれれないと思ったから
- ・みんなの夢や思いが詰まっている新しいぶどうをどうしても作りたかったから

◇ GTの話聞く。

◇ 自分の生活を振り返る。

④ 今日の授業から、今の自分を振り返り、これからは生かせることや新たに学んだことを書きましょう。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、映像資料を活用し、ルビーロマンのイメージを明確にする。
- ・③では、「農家の人や高松さんの思いとは何だろう」「何度も失敗し、成功するかも分からないのに続ける意味はあるのか」「長い年月がかかりすぎなのではないか」などの問い返しをし、ねらいに迫っていく。
- ・GTには、自分の夢を追い続け、実現を目指して努力されている地域の方を活用するとよい。
- ・ねらいが「A (4) 強い意志」ではなく「A (5) 真理の探究」であることを捉えて授業を行う。

4 参考教材

- ・映像資料集（中学校）「8 ルビーロマン」

9 A案

教材名：歌舞伎十八番の内「勸進帳」

主題名：信頼で結ばれた絆

内容項目：B (6) 思いやり, 感謝

- 1 **ねらい** 義経と弁慶の主従関係を超えた信頼関係について考えることを通して、相手を敬愛する心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料「中学生が演じる勸進帳」を視聴する。

◇ 教材を読んで話し合う。

- ① 弁慶は、主人である義経をどのような思いで何度も何度も打ち据えたのでしょうか。
 - ・ つらいことだが、義経様を守るためにはこうするしかない
 - ・ 相手が絶対に疑わないようにしなければならない
 - ・ 義経様、本当に申し訳ありません お許してください
- ② 打ち据えられている義経の目に涙が光ったのはなぜでしょう。
 - ・ 弁慶が自分を何が何でも守ろうと思っていることを感じ取ったから
 - ・ 自分を大切に思ってくれている弁慶に、つらい思いをさせてしまっている自分のふがいなさを感じたから
- ③ この2人の関係をどう思いますか。
 - ・ 弁慶は義経を、義経は弁慶を互いに信じ切っている 強い信頼関係でつながっている どうしてこんな強い信頼関係にまでなるのかと思った
 - ・ 自分のことよりも相手のことを大切に思っている 命をかけてでも相手を守ろうとしている お互いを尊敬し合っているからそんな思いになるのだと感じた
 - ・ 主人と家来の関係を超えて、人としてつながっている それぞれがお互いに尊敬したり、大切に思ったりするから、上下関係を超えたところにつながるのであった

◇ 今日の学習で感じたことや考えたことを伝え合う。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ 終末に教師が「信頼」について考えたり、経験したりしたことについて話をするのも効果的である。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（中学校）「9 歌舞伎十八番の内『勸進帳』」

9 B案

教材名：歌舞伎十八番の内「勸進帳」

主題名：両親の声に従う

内容項目：A (1) 自主, 自律, 自由と責任

- 1 **ねらい** 良心に従い自主的な判断をし、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料「中学生が演じる勸進帳」を視聴する。

◇ 教材を読んで話し合う。

① お話を読んで富樫の行動のどんなところが心に残りましたか。理由も合わせて発表しましょう。

- ・自分の命をかけて、義経一行を通したところ。義経一行の命をかけた大芝居に込められた思いをくみ取り、勇気を持ってすべての責任を引き受けるつもりなのだったから
- ・義経と弁慶、二人の立場を深く理解した上でその信頼関係に感動し、自分も命がけで守りたいと思ったのかもしれない 本来なら捕まえるべきところを、良心に従ったその勇気と判断がすごいと思ったか。

② 富樫が、自分の身の危険をおかしてまで、義経と弁慶の通行を許したのはなぜでしょう。

- ・自分が主君から課せられた命令はあるが、主従関係を越えた強い絆で結ばれた義経と弁慶を見たときに、人としてもっと大切にすべきことを感じて、通行を許した
- ・自分の命をかけて相手を守り、相手の辛い気持ちを受け止め耐えている二人の姿を見て、自分の命をかけてでもこの二人を通さなければならないと感じたから

◇ 自分自身を見つめる。

② あなたも自分の良心に従って判断し、行動をすることの難しさを実感した経験や場面はありましたか。

- ・友達に「Aさんをラインから外そう」と言われた時に、よくないとは分かっているけれども、断れば自分も外されるかもしれないと思い、正しい判断をすることの難しさを感じた。

◇ 教師の説話を聞き、今日の学習で感じたことや考えたことを伝え合う。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、「もし幕府に知られたら自分の命を取られてしまうのになぜ？」など揺さぶったり問い返したりして深めていくとよい。
- ・終末に映像資料（安宅の関）を見せて終わることも考えられる。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「9 歌舞伎十八番の内『勸進帳』」

教材名：満天の星空の下で	
主題名：互いに高め合う	内容項目：B (8) 友情, 信頼

- 1 ねらい 友情は相互の信頼関係や相手を思う気持ちによって成り立っていることを理解し、互いに励まし高め合おうとする心情を養う。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇「友達」について話し合う。

- ① あなたにとって「友達」とは、どのような存在ですか。

- ・一緒にいると楽しい
- ・遊んでくれる
- ・困ったとき相談してくれる
- ・宝物

◇教材を読んで話し合う。

- ② キャプテンの翔太に「自分の荷物ぐらい自分で持てよ。」と言われたとき、徹はどんなことを思ったでしょう。

- ・キャプテンだからって翔太はうるさい
- ・なぜ僕らばかり注意されるのだろう
- ・荷物くらいいいじゃないか 偉そうな態度がますます嫌だ

- ③ 満天の星空の下で、徹は何を考えていたのでしょうか。

(映像資料の星空を視聴し、考える)

- ・翔太も辛いのに頑張っていたんだ
- ・自分は浩に甘えていた
- ・翔太はキャプテンとして、僕達のことを考えて注意していたんだ

- ④ どうすれば友情を育み、深めることができるのでしょうか。

- ・友達同士お互いに信頼し合うことが大切だ
- ・楽しいだけでは本当の友情とは言えない 時には嫌われることも覚悟をして厳しいことも言うのが本当の友達だし、それが高め合うことにもなる
- ・厳しいことを言われたとき、初めは腹が立つかもしれないけれど、自分のことを思って言ってくれたのだと受け止めることが大事だ

◇自分との関わりで考える。

- ⑤ 自分自身と友達の関わりを見つめてみましょう。

- ・いつも相手に嫌われたくなくて、言わなくてはいけないことも言えない
- ・相手のことを考える前に自分の思いを口にしてしまって、後悔することがある

◇教師の説話を聞き、「友情」について、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・板書は、三人の気持ちが視覚的に分かるように図示するとよい。
- ・終末では、教師の説話の代わりに「私たちの道徳」を用いることも効果的である。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」（日本海から見た星空）

10 B案

教材名：満天の星空の下で

主題名：互いに高め合う

内容項目：B (8) 友情, 信頼

- 1 **ねらい** 友情は相互の信頼関係や相手を思う気持ちによって成り立っていることを理解し、互いに励まし高め合おうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 「友達」についてのアンケート結果を提示し、話し合う。

- ① 友達関係で何か悩みがありますか。
- ・自分の本当の気持ちを伝えられない時がある
 - ・相手に合わせてしまっている

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 最初、徹はキャプテンの翔太に対してどのように思っていたのでしょうか。
- ・キャプテンだからって、えらそうなんだよ
 - ・まじめすぎるんだ
 - ・いちいちうるさい
 - ・浩はやさしいのに、翔太は全くやさしくない

③ どうして徹は、変わったのでしょうか。

- ・自分のことしか考えていなかったことに気付いたから
- ・自分が浩に甘えてばかりいたことを反省したから
- ・厳しい言葉もチームやぼくのために言っていると分かったから
- ・翔太自身つらくてもだまって頑張っていることを知ったから

④ 友情を築いていくために大切なことは何でしょうか。

- ・友達に対して思いやりの気持ちをもつこと
- ・相手の気持ちを考えた言動をとること
- ・自分のために言ってくれていることを誤解しないで真意をとらえること

◇ GTの話聞き、考えを深める。

- ・〇〇さんも私たちと同じような経験をしているのだな
- ・厳しいことを言ってくれてからこそ、救われることもあるのだな

◇ 今日の学習で感じたことや考えたことを振り返る。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・教材の「天の川が見えるよ。…」のところから映像資料の「日本海から見た星空」を映し、BGMを流しながら範読をするとよい。
- ・④でさらに思考を深めるために、最初に提示したアンケート結果に戻り、実際には友達関係で悩みがあったり、問題が起きたりしている場合があることを想起させ、自分自身を見つめさせることも考えられる。
- ・終末で「私たちの道徳」P61を活用してもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」（日本海から見た星空）

教材名：名のない和菓子

主題名：感謝の思い

内容項目：B (6) 思いやり，感謝

1 **ねらい** 多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応えようとする実践意欲と態度を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 感謝について考える。

① あなたはどんなことをしてもらった時に「ありがとう」と言いますか。

- ・ 友達が勉強を教えてくれた時
- ・ 家の人がお弁当を作ってくれた時
- ・ 物を落として拾ってくれた時

◇ 教材を読んで話し合う。

② 師匠から保育園に出向くように命じられた時に、私はどんなことを思ったでしょう。

- ・ 納得がいかない 師匠は何を考えているんだ
- ・ 子供相手だから真剣に準備する必要なんてない
- ・ 山本さんと同じように頑張ってきたのに、なぜ自分は保育園の菓子教室の講師なのか

③ 「私」が師匠の顔を見ることができなかつたのはどうしてでしょう。

- ・ 師匠の思いも理解せずいい加減なことをした自分が情けなかつたから
- ・ 今までの自分の考えが間違っていたことに気付いて恥ずかしかつたから
- ・ 師匠の言葉を聞いて、自分の作った菓子を食べてくれる人を喜ばせることが何よりも大切だと気付き、何も分かつていなかつた自分に対してふがいないと思つたから

④ 「私」の中に師匠に対してどのような思いが生まれたでしょう。

- ・ 師匠が自分を保育園に行かせてくれたおかげで、大切なことに気づくことができた 師匠のおかげだ
- ・ 師匠は自分をよく見てくれていて、自分の考えを正してくれたことへの感謝の思い
- ・ 師匠は自分を菓子職人として立派に育てようとしてくれている ありがたい

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ 日々の生活を振り返って、「感謝」が生まれる様々な場面を具体的に思い浮かべながらあなたが思うことを書いてみましょう。

- ・ 家族が自分に言ってくれることを時々面倒だと思ふときがある でもそこには自分のことを大切に思ふ気持ちがあるということをおぼえてはいけないと思つた
- ・ 毎日指導してくれる顧問の先生に対して、一生懸命に練習し、強くなることで感謝の気持ちを表したい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ③で「申し訳ない」「情けない」という言葉だけしか出てこなかつた場合は、そう思う理由等を明確にさせるように問い返しをする。
- ・ ④では「感謝」という言葉だけにこだわるのではなく、師匠に対する私の思いを幅広く受け止めるようにする。

11 B案

資料名：名のない和菓子

主題名：社会とつながる

内容項目：C (13) 勤労

- 1 **ねらい** 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会とつながろうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 働くことについて考える。

- ① 職場体験で楽しかったことや、大変だったことは何でしょう。

- ・ 保育所で子供達の笑顔を見られて楽しかった
- ・ スーパーで商品の棚卸しなどをするのが大変だった
- ・ 覚えることがたくさんあったけど、「お疲れさま」と言われて嬉しかった

◇ 映像資料を視聴し、和菓子作りについて知る。

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 師匠の助言を聞いて、和菓子作りに対する「私」の思いがどのように変化したでしょう。

- ・ これからはお客さんが喜んでくれるように作らなければならないと思った
- ・ 相手が誰であってもいつも一生懸命に取り組まなければいけないと気づいた
- ・ どんな仕事に対しても誠実に取り組むことが大切だと気づいた

◇ GTの話聞き、勤労の意義について考える。

◇ 将来について考える。

- ③ 仕事をするときに、どんなことを大切にしていきたいですか。

- ・ 誰かの役に立つような仕事をしたい
- ・ 相手に喜んでもらえるように仕事がしたい
- ・ 自分の仕事に誇りを持ってできるようにしたい
- ・ すぐにあきらめずに、努力を続けていきたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ①では、体験時の写真を提示し、生徒が興味をもてるようにすることも考えられる。職場体験がまだ実施されていない場合は、興味のある仕事についてのアンケート調査の結果を示してもよい。
- ・ GTには、勤労を通じて社会とつながることができる喜びについて、具体的に語ってもらえるとよい。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（中学校）「11 名のない和菓子」

12 A案

教材名：能登半島地震の経験を通して

主題名：温かい人間愛

内容項目：B (6) 思いやり，感謝

- 1 ねらい 多くの人の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、誰かのために役に立とうとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を視聴し、能登半島地震について知る。

① 能登半島地震について、知っていますか。

- ・地震があったことは知っているが、詳しくは知らない
- ・祖父母の家が被害にあった
- ・崩れた道路を見たことがある

◇ 教材を読んで話し合う。

② 両親が祖母に付き添って行った夜、「僕」はどんな気持ちだったでしょう。

- ・祖母のことが心配で、心細い
- ・家もなくなり、不安だけが襲ってくる
- ・自分はこれからどうなるのだろう、もう絶望的だ

③ 「僕」がそんな中でも苦しさや悲しさに押しつぶされることがなかったのは、どうしてでしょう。

- ・声をかけてくれる人がいたから
- ・周りの人の温かさに触れたから
- ・ボランティアの人達が支えてくれたから

④ お年寄りの肩をもみながら「僕」はどのような思いでいたでしょう。

- ・自分がいろんな人に支えられて嬉しかったので、今度は自分が誰かのために何かをしたい
- ・自分が周りの人に支えられて今があるからこそ、今度は自分が誰かの支えになりたい
- ・ささやかなことでも、自分にできることをして誰かの役に立てるのはうれしい

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ 今の自分を支えてくれている人にはどんな人がいますか。その人たちに対してあなたはどのように思っていますか。

- ・私は家族の支えがあるから、部活や勉強に打ち込めると感じていますが、なかなか素直にありがたうと言えないので、いつかその気持ちが伝えられるといいです

◇ 教師の説話を聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・避難生活を経験した人やボランティア経験者に、GTとして話をしてもらうのもよい。
- ・自分のことを振り返る時に、自分自身を真ん中にした人物相関図を書きながら、誰にどんな風に支えられているかを書いてみるのもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「12 能登半島地震の経験を通して」

教材名：能登半島地震の経験を通して	
主題名：温かい人間愛	内容項目：B (6) 思いやり, 感謝

- 1 **ねらい** 多くの人の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、誰かのために役に立とうとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇映像資料を視聴し、能登半島地震について知る。

- ① 能登半島地震や避難所での様子を知ってどう思いましたか。
- ・ここまで大きな被害があったとは思っていなかった
 - ・避難所での生活は大変なことや不安なことがたくさんあつただろうな
 - ・大変な状況の中で、笑顔の人がいるのはなぜだろう

◇教材を読んで話し合う。

- ② 「僕」が「お年寄りの肩をもむ」という行動をとったのはどうしてでしょう。
- ・人の優しさにふれることで苦しさや悲しみを乗り越えられると感じたから
 - ・支え合いの大切さに気付き、自分も他の人のためにしたいと思った
 - ・自分から他の人のために行動することで、絆が深まっていくと実感したから

- ③ 不便な生活の中で「僕」が気付いた「便利さとは違う何か」とは、どのようなことでしょう。グループで話し合ってみましょう。

- ・人の心の温かさ
- ・当たり前だと思っていたささいなことにも感謝できる喜び
- ・自分にできることをしてお互いが支え合うすばらしさ
- ・誰かの役に立つために行動するすばらしさ

◇今日の授業で感じたことや自分との関わりで考えたことについて振り返る。

- ・日々、多くの人に支えられながら過ごしていることが当たり前のことになってきたかもしれない
- ・互いを思い合う気持ちを行動に表すことで乗り越えられることがあると思った
- ・私が今こうやって部活動で活躍できているのは友達のおかげだ ありがとうと言いたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・G Tとして、避難生活を経験した方やボランティア活動に参加されていた方を迎え、避難所生活における困難さと共に、人の心の温かさについて話をしてもらうのもよい。
- ・最後に、「私たちの道徳」（P 8 7）「この人のひと言」を提示し、余韻を残して終わるのもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「12 能登半島地震の経験を通して」

教材名：白山～深田久弥～	
主題名：心の拠り所	内容項目：D (21) 感動, 畏敬の念

- 1 **ねらい** 自然に親しみ、自然の美しいものに心ひかれることを通じて、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を見て、感じたことを出し合う。

- ① 白山を見て、どんなことを感じましたか。

- ・白山ってきれいだなあ
- ・深田久弥という人を初めて知った
- ・自分にとってのふるさとの山は何か

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 久弥にとって「白山」はどんな存在だったのでしょうか。

- ・自分に登山の素晴らしさを教えてくれた存在
- ・自分にとってのふるさとの山
- ・初めて本格的な登山をした特別な山
- ・いつも自分の心に入り、温かく見守ってくれている山

- ③ 久弥は、山から何を感じ学んだのでしょうか。

- ・自然の美しさ、気高さ
- ・自然の厳しさ
- ・人間の力を超えた、自然の大きさ
- ・山などの自然が、人の人生の支えになってくれることがあるということ

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ あなたが親しみを持ったり、なじみを感じたりする身近な自然や風景には、どのようなものがありますか。また、なぜそう思いますか。

- ・部活の帰りに見た夕日があまりに美しく、明日からまた頑張ろうという気持ちが出てきたから
- ・合宿で山に登った時、頂上から見た景色が素晴らしく、悩んでいることが小さいことのように思えたから
- ・星空を見ていたらその美しさに涙が出そうになり、心のもやもやがすっきりするような感じがしたから

◇ 映像資料を見て、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、映像資料で興味関心を高めるとともに、「日本百名山」についても簡単に説明をする。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「13 白山～深田久弥～」
- ・深田久弥 山の文化館 <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun/>

教材名：白山～深田久弥～

主題名：心の拠り所

内容項目：D (21) 感動, 畏敬の念

1 **ねらい** 自然に親しみ、自然の美しいものに心ひかれることを通じて、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 自然の美しさを感じた経験について話し合う。

① あなたが美しいと感じた自然は何ですか。

- ・夕日の輝き
- ・紅葉で色づいた山
- ・登山した時に見た頂上からの眺め
- ・雨上がりに出た虹

◇ 映像資料で興味関心を高め、教材を読んで話し合う。

② 久弥が語る「心が洗われるような感覚」とは、どのようなものでしょう。

- ・美しい自然の姿を前にする時に心が動き、すがすがしく感じる思い
- ・自然が清らかに優しく自分を包み込んでくれて、癒されるような感じ
- ・自然の大きさや美しさに圧倒され、人間の力を超えた神秘的な感覚から、人間の命の有限性を感じ、前向きに生きていこうという気持ちになる
- ・美しく気高い自然を目の前にして生まれる、自然に対する畏敬の念から、自分自身の心のうちや生き方に思いを馳せ、よりよく生きていきたいという思いや人・もの・自然に対する感謝と尊敬の気持ちが湧いてくるような感覚

◇ 自分との関わりで考える

③ あなたが親しみを感じたり、大切に思ったりする自然や風景にどのようなものがありますか。また、その自然や風景を見た時どう思いますか。

- ・私は部活の帰りに夕日を見ると、また頑張ろうという気持ちが湧いてくる
- ・合宿で山に登った時、頂上から見た景色が素晴らしく、悩んでいることがあるときにはいつも写真を見て自分を励ましている
- ・塾の帰りに星空を見ていると、その美しさにいつも癒される
- ・グラウンドから見える白山の美しさが僕が一番のお気に入りだ

◇ 教師の説話を聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、映像資料だけでなく、久弥の語る白山の描写（「どれほど私を慰めてくれたことか」「早暁の静寂な白山」「美しいものの究極」「非現実的な夢幻の国の景色」「天然の庭園のような趣」等）や画像等を板書に位置づけ、発問と関連づけて考えさせてもよい。
- ・③ではグループで話し合い、どうしてそう感じたのか理由まで語り合うとよい。
- ・教師の説話では、教師自身の大切な風景について紹介するとともに、美しさや偉大さを感じた経験と畏れを感じた経験の両方を話すとよい。また最後に映像資料（小学校高学年「あの気持ち」）を流し、余韻をもたせるのもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「13 白山～深田久弥～」
- ・映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」（白山から見る雲海）
- ・深田久弥 山の文化館 <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun/>

教材名：海とともに生きる

主題名：自然とともに生きる

内容項目：D (20) 自然愛護

- 1 ねらい 自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然愛護に努めようとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 海に関連した環境問題について話し合う。

- ① あなたは海に関するどんな環境問題を知っていますか。

・海面上昇 ・砂浜のゴミ ・プラスチックゴミ汚染

◇ 映像資料集（小学校中学年）「15 泣き砂の浜を守る」（インタビュー前半）を視聴し、教材を読んで話し合う。

- ② 重油をため息混じりにすくい上げたとき、どんなことを考えたのでしょうか。

・いくらすくってもなかなか元の砂浜には戻らない、なぜこんなことに
 ・いったいどれだけすればきれいになるのか
 ・たった一隻の沈没で海がこんなにひどい状況になるなんて許せない
 ・大変なことになった 元の美しい海に戻るのだろうか

- ③ そんな中、たった一匹のヤドカリの姿が気持ちをふっきれさせ、さわやかな気持ちにさせたのは、なぜでしょうか。

・汚れてしまった海でも小さな命が生きていることに希望を感じたから
 ・絶望の中にいたのに、海で生きる生き物の生命力に気付いたから
 ・やっている作業が命を守ることに確実に繋がっていると気付いたから
 ・自分もできることをやっていきたいと思えたから

◇ 自分自身を見つめる。

- ④ 人間と自然が共に生きていくために大切なことは何でしょうか。

・小さな生きもの達も自分達と同じように生きていることを忘れないでおくこと
 ・自分の行為が自然界やそこに生きる命に繋がっていくのだと考えて行動すること

◇ GT（または映像資料後半のインタビュー）の話聞き、今日の学習で気付いたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・GTの話では、この出来事の経緯を知っている方や実際に清掃作業に関わった方の話が聞けると効果的である。また、GTに質問したり考えを伝え合ったりする時間を確保しておく配慮も大切である。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校中学年）「15 泣き砂の浜を守る」

教材名：海とともに生きる	
主題名：自然とともに生きる	内容項目：D (20) 自然愛護

- 1 ねらい 身近な環境問題を手がかりとしながら、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然を愛護しようとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 知っている環境問題について話し合う。

- ① あなたが知っているもしくは聞いたことがある環境問題にはどのようなものがありますか。

- ・温暖化現象
- ・工場排水の問題
- ・プラスチックゴミの削減
- ・PM2.5の影響による大気汚染
- ・ゴミの埋め立て

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 重油が羽咋の沿岸に漂着したことによって、どのような問題が生じたでしょう。

- ・海の生き物が重油に汚染され、漁ができなくなり、漁師は生計を立てることができなくなった
- ・地域住民が大切に思っていた故郷の美しい海が汚染されてしまい、悲しい気持ちになった
- ・美しい海を見に来る観光客が減ってしまった
- ・美しい海を未来の子どもたちに残してあげられない可能性が生じた

- ③ 環境問題に取り組むことの重要性が叫ばれているにもかかわらず、なかなか改善に向かわないのはなぜでしょう。

- ・自分には関係ないと思っている人たちがたくさんいるから
- ・日々の暮らしの中で環境の変化による影響を実感することが難しいから
- ・これまで通りの暮らしを続けるほうが便利で楽だと思ってしまうから
- ・一度破壊された環境を元通りにするのは長い年月を必要とするから

- ④ 今日、私たちは、なぜ環境問題について考えていく必要があるのでしょうか。

- ・遠く離れたところで起こっている環境問題は、実は自分たちの生活につながっていることなので、自分たちのこととして考えていかなければならないから
- ・今の生活では特に変化を感じないかもしれないけれども、環境問題は、未来に大きな影響を与える問題だから

◇ GTから環境問題の現状について話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では今までに学習してきた環境問題の内容を想起させるとよい。
- ・②では生徒から出てきた様々な問題を観点別（例 住民、漁師、環境、生態系、産業）に分類しながら板書し、多面的・多角的に問題を捉えられるようにする。
- ・②ではグループで意見を出し合い、生徒たちに意見を整理させ、グループごとに発表させることも考えられる。
- ・③で揺さぶり発問をし、環境問題に対する自分の立ち位置を確認させ、④の発問について考えさせるようにする。
- ・GTを招くことが難しければ、本やインターネットからの情報などを活用し、生徒の見方や考え方が広がるように工夫をするとよい。

教材名：風と砂がつくる贈り物	
主題名：自然を愛し守る心	内容項目：D (20) 自然愛護

- 1 ねらい 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然を愛護しようとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を視聴し、心に残った風景について話し合う。

- ① 心に残っている風景にはどのようなものがありますか。

- ・海がきれいだった
- ・イワナつかみをした川、水がとてもきれいだった
- ・登山で行った白山
- ・学校帰りに見た夕日

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 「僕」は、どんな気持ちで玄関掃除をしていたのでしょうか。

- ・砂が面倒だ
- ・海を眺められるのは確かにいいけど、毎日玄関掃除することを思うと、うんざりだよ
- ・玄関も車も犬も、砂まみれでいやだなあ

- ③ 吉田さんの話を聞いて、「僕」はどんなことを思ったでしょう。

（映像資料の、砂丘の場面を静止画像にして示す）

- ・この竹垣が一年で砂に埋まるなんてすごい、生きているみたいだ
- ・風紋は毎日変化しているんだ、自然ってすごいなあ
- ・風と砂が作る、美しい景色や音を目の前にすると、確かに心うばわれる気持ちになるなあ
- ・この砂丘が、吉田さんの助けになっていたんだ
- ・このままでは、砂丘がなくなってしまうなんて知らなかった これらを残していきたいと考えている人がこんなにいるんだな

- ④ 風紋の中を歩いている「僕」は、どんなことを考えているでしょう。

- ・砂丘をこのまま生かし続けていきたいな
- ・大人になっても、この美しい砂丘、風紋が見られるといいな
- ・自分にとってもこの砂丘が大切に思えてきた、吉田さん達と一緒に作業をして守り続けていきたい

◇ 自然を守る活動をしているGTの話聞き、今日の授業で考えたことや感じたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③では、吉田さんが砂丘に心が癒された理由について補助発問を行い、自然の崇高さにも触れながら、自然を愛護していこうとする心情に迫りたい。
- ・映像資料だけでなく写真教材も使用し、自然の美しさについて視覚にも訴えたい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「15 風と砂がつくる贈り物」

教材名：風と砂がつくる贈り物	
主題名：自然を愛し守る心	内容項目：D (20) 自然愛護

- 1 ねらい 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然を愛護しようとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を視聴し、「風紋」について知る。

- ① この映像を見て、どんなことを思いましたか。（風紋の映像を流す）

- ・見たことがある、きれいだなあ
- ・自然の力でできるなんて、不思議だ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 吉田さんたちボランティアの存在を知って、あなたはどう思いますか。

- ・大変で地道な作業なのに、ボランティアとして活動していてすごい
- ・簡単に真似できることではない
- ・自分だったらできない

- ③ 吉田さんはなぜ最初は否定的だったのに2年間もの間ボランティアを続けているのでしょうか。

- ・砂丘に対して愛着を感じて、ずっと守っていきたくて思ったから
- ・この砂丘には、人の心までも動かす力があることを知り、大切にしていかなければならないと感じたから

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 内灘砂丘以外で自然環境を守る具体的な活動をあなたは知っていますか。それらがなぜ今日の重要な課題と捉えられているのでしょうか。

【具体的な活動】

- ・ペットボトルなどのリサイクル
- ・海岸清掃
- ・山や森に木を植える
- ・水質調査

【今日の重要な課題と捉えられている理由】

- ・海が汚染され生き物がいなくなれば、自分たちの生活に悪い影響が出てくるから
- ・一度破壊された環境を修復するにはとても時間がかかるので今すぐ始めなければいけないから
- ・温暖化がこれ以上進めば未来の人たちはもっと苦労してしまうだろうから

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では生徒の率直な感想（大変そうだ、面倒などのマイナス面も含めて）を引き出すようにする。
- ・③P44下段最後の吉田さんのセリフに触れながら考えられるようにする。
- ・他教科・他領域との関連を図ったり、事前に自然環境に関する調べ活動に取り組んだりするなど、自然環境に関する知識を増やす工夫をするとよい。
- ・④では、環境問題が自分たちの利害にだけ関連するのではなく、未来にも影響を及ぼすことを意識させる。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「15 風と砂がつくる贈り物」

教材名：魂をこめて	
主題名：弱さの克服	内容項目：D (22) よりよく生きる喜び

- 1 ねらい 人間には自ら弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を視聴し、教材に対する興味関心を高める。

- ① 加賀友禅を知っていますか。

- ・金沢の伝統工芸だよ、美しい着物だな
- ・友禅作家は、強い思いで一生懸命に作品を作り上げているのだな

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 開きかけのまま置いてあった拓也のノートを見たとき、康介はどんなことを思ったでしょう。

- ・なんて素晴らしいデザインなんだ、自分にはかなわない
- ・拓也の才能がうらやましくてたまらない
- ・自分もがんばっているのに、こんな風に描けない、悔しいし情けない
- ・自分もこんなデザインが描けたなら・・・

- ③ 師匠の顔も拓也の顔もまともに見ることができなくなった康介はどんなことを考えていたのでしょうか。

- ・あの時は、拓也のデザインが頭から離れず自分のものにしてしまったが、今思うとなんて卑怯なまねをしてしまったのでしょうか
- ・こんな自分が恥ずかしくて、苦しくてたまらない
- ・正直に言えればよいのだろうが、こんなこと言えやしない

- ④ 涙を流している康介はどのような気持ちだったのでしょうか。

- ・本当のことを話して謝らなければ、もう次に進めない
- ・辛さから逃げずに、真剣に作品作りに向き合って、美しい作品を作れるようになりたい
- ・師匠や同僚を裏切ってしまった、申し訳ない

◇ 自分自身を見つめる。

- ⑤ 今まで自分の心の弱さに向き合った経験はありますか。振り返ってみましょう。

- ・苦手なことから逃げたり、やりたくないことを後回しにしてしまったりしたことがある
- ・部活動の辛い練習で、手を抜いたり、サボったりしたことがある

◇ 教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、映像資料を視聴し、友禅の美しさや、その作品作りに友禅作家が真摯に向き合っていることを捉えさせる。
- ・③では、良心の呵責にさいなまれるものの、弱さに向き合えない康介の心情に迫る。
- ・④では、師匠の言葉と見事な友禅を目の当たりにして涙する康介に共感させ、職人としての誇りや志等と関連づけながらねらいに迫りたい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「16 魂をこめて」

教材名：魂こめて	
主題名：弱さの克服	内容項目：D（22）よりよく生きる喜び

- 1 **ねらい** 人間には自ら弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を視聴し、教材に対する興味関心を高める。

- ① 友禅作家は、どのような思いで作品を作っているのでしょうか。
- ・美しい着物を作りたい
 - ・着る人に喜んでほしい
 - ・誰も作ったことのないものにしたい

◇教材を読んで話し合う。

- ② 康介についてどう思いますか。
- ・あせっていたとしても、してはいけないことをした
 - ・最後に涙を流しているので、とても後悔していると思う
 - ・悪いことだとは思いますが、康介の気持ちは少しわかる気がする
- ③ 真摯に作品と向き合う師匠の心とはどのようなものでしょう。
- ・うまくいなくてもあきらめずに努力しようとする
 - ・自分の仕事に誇りをもとうとする
 - ・人と比べずに自分のことに集中する
 - ・自分の弱さに負けずに向き合う
- ④ 弱さに負けそうなとき、自分に恥じない行動をするためには、どうすることが大切でしょう。
- ・自分自身がどうなっていきたいのか、じっくりと考えること
 - ・人にも自分にも恥ずかしくないかを問い続け、苦しいときがあっても逃げないこと
 - ・誰にでも弱さはあるけど、それを強さに変えようとしていくこと

◇ 今日の学習で感じたことや考えたことについて振り返る。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、自由に感じたことを伝え合う中で、教材の内容を把握できるようにする。
- ・③では、グループ活動を設定し、多様な考えを出し合えるようにしてもよい。
- ・④では、良心に従って生きることの喜びや難しさについて、自分の経験をもとにして考えたり話し合ったりできるようにするとよい。
- ・ふり返りでは、「私たちの道徳」P121を活用することも考えられる。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「16 魂をこめて」

教材名：笑顔のために	
主題名：人間の素晴らしさ	内容項目：D (22) よりよく生きる喜び

- 1 **ねらい** 人間のもつ強さや気高さを信じ、人間として誇りある生き方を見いだそうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 自分の弱い心や強い心について考える。

- ① 自分の心は「弱い心」「強い心」と思うときはありますか。
- ・友達をうらやましくて、いやな気持ちになる時は、弱い心と思う
 - ・勇気を出して注意できたときは、強い心があったと思う
 - ・自分に自信がなくて、だめだなってすぐあきらめる時は弱い心
- ② 今日は、このような人間の「弱い心」「強い心」について考えていきましょう。

◇ 教材を読んで話し合う。

- ③ 弟に勉強を教えている時の「困っている両親」や「嫌がっている弟」を見ているとき、はるかさんはどんなことを考えていたのでしょうか。
- ・いい加減にしてほしい、弟も嫌がっているのに
 - ・大変なら、やめればいいのに 嫌じゃないのかな
 - ・なんでそんなに頑張ることができるのだろう
- ④ 「ハッとしました」とありますが、はるかさんは、どんなことに気付いたのでしょうか。
- ・二人の心を考えていないことに気付いた
 - ・勝手に、弟の力を決めつけて、何もしようとしない自分に気付いた
 - ・父が、自分や弟の障害をあきらめずに、少しでもできることを増やそうと頑張っていることのすごさに気付いた
- ⑤ はるかさんの両親は、どうしてこのように前向きに生きているのでしょうか。
- ・自分の障害に負けたくないという強い心を持っているから
 - ・自分の弱いところを、少しでも克服しようという気持ちが強いから
 - ・あきらめて、そこで終わってしまうような弱い人間にはなりたくないから
 - ・自分ができることは、まだまだあると信じているから

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑥ 今日の授業を振り返り、自分の「弱い心」や「強い心」について感じたことを書きましょう。
- ・弱い心に負けて、すぐにあきらめてしまう自分を変えていきたい
 - ・自分の可能性を信じて、自分の良いところをもっと増やしていきたい
 - ・いろいろ悩むこともあるけど、弱い心に負けないように強く生きていきたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①については、教師がいくつか例示し、生徒が自分のこととして考えやすくする。
- ・③④⑤を通して、迷いながらもよりよく生きようとすることの大切さに気付くようにする。
- ・⑥ではねらいに迫るために「私たちの道徳」P120を活用することも考えられる。

教材名：笑顔のために

主題名：公正・公平な社会に

内容項目：C (11) 公正，公平，社会正義

1 ねらい だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 「差別や偏見」について考えを發表する。

① 「差別や偏見」と聞いて、どんなことを思い起こしますか。

- ・男女差別や人種差別っていう言葉を聞いたことがある
- ・アイヌの人々が差別されていたという勉強をした
- ・絶対にしてはいけないこと

② 「差別や偏見はなぜ生まれるのか」考えていきましょう。

◇ 教材を読んで話し合う。

③ 教材を読んで、心に残ったところはどこでしょう。

- ・はるかさんの両親が互いの良さを生かしながら支え合っていること
- ・障害がある家族を「誇らしい」と思うはるかさんが、すばらしいと思った
- ・「一人ひとりが大切な存在」という言葉が心に残った
- ・「かわいそう」という言葉がショックだったというところ 自分もかわいそうだと思っていた

④ この作文の中には、どのような「差別や偏見」が描かれているでしょう。

- ・近所のおばさんが、家族のことをよく知りもしないのに「かわいそう」と決めつけてしまっている
- ・はるかさんが病気の弟は勉強してもどうせできないと思ってあきらめてしまっている

⑤ なぜ「差別や偏見」が生まれるのでしょうか。

- ・人を見た目などで決めつけてしまうから
- ・自分と違うことは、「悪いこと」「かわいそうなこと」と思ってしまった時
- ・その人のことをよく理解しようとしないと、「差別や偏見」が生まれる

◇ 教師の説話を聞く。

◇ 自分との関わりで考える。

⑥ 今日の授業から、「差別や偏見」について考えたことを書きましょう。

- ・人を見た目で決めつけることは、自分もしていたかもしれない
- ・相手の思いや考えを本当に分かってもらうことが大切なのだと思う

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では「どうして、それを差別だと思ったの」「かわいそうと思うことは悪いことなの」と切り返し、考えを深めていくとよい。
- ・教師の説話では、公正・公平にできた体験やできなかった体験を話し、⑥へとつなげる。

教材名：私の出発点	
主題名：家族の愛情	内容項目：C (14) 家族愛，家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 家族の深い愛情によって育てられたことに感謝し、家族の一員としてより充実した家庭生活を築こうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ アンケート結果から家族について考える。

- ① 今のあなたにとって家族とはどんな存在ですか。
（アンケート結果をもとに感想を交流する）
- ・大事だけれど、口うるさい
 - ・何かあれば助けてくれる
 - ・一緒にいると安心できるけれど、嫌なときもある

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 初めて金沢を離れるとき、なぜ美咲は後ろを振り返らなかったのでしょうか。
- ・最後まで応援してくれなかった祖母に腹を立てていたから
 - ・家族と離れてこれからは一人でやっていくと決心したから
 - ・東京での新しい生活のことしか頭になかったから
 - ・反対を押し切ってまで東京へ行く後ろめたさ（意地を張っている）から
- ③ 美咲が再び金沢を離れるときに感じた「大きなもの」とは何でしょう。
- ・祖母の深い愛情
 - ・自分を応援してくれている家族の気持ち
 - ・いつも私の帰りを待っていてくれる人の温かさ

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ あなたも、美咲のように「大きなもの」を感じた経験はありますか。
- ・大事な部活動の試合の朝は、頑張れって言って送り出してくれた時に感じた
 - ・母親が自分の子供の頃の写真を大事そうに見ていた時に感じた

◇ 教師による説話や保護者からの手紙を読み、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・指導に当たっては、多様な家族構成や家庭状況があることを踏まえ、一人一人の生徒の実態を把握し、十分な配慮を欠かさないようにすることが重要である。
- ・①については、事前アンケートをもとに感想を交流することで家族についての思いをめぐらせ語りやすくする。
- ・終末では大人になってから感じたり気付いたりした教師の家族への思いを語ったり、事前に依頼しておいた保護者からの手紙を生徒に渡すなどの工夫が考えられる。

教材名：私の出発点

主題名：家族の絆

内容項目：C (14) 家族愛、家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 家族は温かい信頼関係や愛情により深い絆で結ばれていることに気づき、家族の一員としてより充実した家庭生活を築こうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 家族について考える。

- ① 家族への願いはありますか。

- ・すぐに怒らないでほしい
- ・お小遣いを増やしてほしい
- ・笑顔でいてほしい
- ・健康でいてほしい

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 再び金沢を離れる美咲の気持ちには、初めに金沢を離れるときとどのような違いがあるでしょう。

- ・以前は自分の夢を叶えることしか考えていなかったが、今は自分を応援してくれる家族がいることに気付いた
- ・今までは自分のことしか考えていなかったが、自分を支えてくれる人がいるという安心感がある
- ・いつでも帰りを待っていてくれる温かさを感じた
- ・親元を離れて自由になりたいと思っていたが、自分一人ではないと感じた

- ③ おばあちゃんの姿から学んだ「家族」とは、どのような存在でしょう。

- ・自分をいつまでも見守ってくれる存在
- ・自分の成長を願い、深い愛情を持って育ててくれる存在
- ・辛いときでも支えてくれる
- ・自分の迷いを受け止め、また次に向けて頑張る力をくれる
- ・温かく受け入れてくれる
- ・安心できるよりどころ
- ・生き方を教えてくれる存在

◇ 自分自身を見つめる。

- ④ あなたが家族の一員として、これから家族のためにしたいことはどんなことでしょうか。

- ・自分の気持ちを大事にしながらも、家族の愛情も忘れないようにしたい
- ・家族でも相手の思いに耳を傾けるような心の余裕をもちたい
- ・感謝の気持ちを伝えるようにしたい
- ・自分も家族を支えられるようになりたい

- ⑤ 今日の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・指導に当たっては、多様な家族構成や家庭状況があることを踏まえ、一人一人の生徒の実態を把握し、十分な配慮を欠かさないようにすることが重要である。
- ・②③では問い返しを行うことで、その奥にある思いを問う。
- ・⑤では「私たちの道徳」(P 184～185)を読み、思いを膨らませてから書くこともよい。

教材名：花いっぱいプロジェクト	
主題名：学校を愛する心	内容項目：C（15）よりよい学校生活、 集団生活の充実

1 ねらい 学校に愛着や誇りを持ち、その一員として、よりよい校風をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 自分の学校の良さについて話し合い、本時のテーマを知る。</p> <p>① 自分の学校が自慢できることは何でしょう。 ・挨拶 ・仲の良さ ・校舎内外の環境 ・学校祭</p> <p>② 映像資料を視聴し、心に残ったことを話し合う。 ・一人の力ではできないスケールの大きさだ ・花で溢れている学校なんだ</p> <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>③ 文句を言っていた男子生徒が、次の日の朝、水やりを手伝ったのは、どんな気持ちからでしょう。 ・真平さんや先輩たちが大切にしてきた花を、枯れさせるわけにはいかない ・今年も最優秀賞をとり、13年連続にしたい ・沢山の先輩たちがつないできたバトンを、自分たちも受け継ぎたい</p> <p>④ 今年も最優秀賞をとりたいと思ったのは、どんな気持ちからでしょう。 ・15年前から現在まで続けてきた努力を無駄にしたくない ・沢山の先輩たちがつないできたバトンを途切れさせたくない</p> <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>⑤ 「〇〇学校のバトン」をつなげるために、自分たちができることはどんなことでしょうか。 ・一人一人が学校を築く一員であるという自覚をもつ ・先輩たちの努力に感謝する気持ちをもって取り組む ・いいところを、全校みんなで力を合わせて受け継いでいくようにする ・自分たちの学校のいいところは、さわやかなあいさつができることだから、先にあいさつができるように、クラスや生徒会や部活動で取り組む</p> <p>◇ GTの話聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。</p> <p>⑥ 「つなげ 〇〇中学校のバトン」について、GTからお話を聞きましょう。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①の前後に、バトンを渡しているイラストと本時のテーマ「つなげ 〇〇中学校のバトン」を提示することで、課題意識を高める。
- ・②で映像資料を見ることで、「花の学校」のイメージを持って教材に出会えるようにする。
- ・⑤では、グループ活動を行うことで、一人一人にとっての「できること」を考えるようにする。また、具体的な行動まで考えることで、実践意欲を高めるようにする。
- ・⑥では、先輩であるGTから〇〇中学校での思い出などを聞くことで、学校の歴史や伝統の重み、それを受け継ぐ大切さについて考えを深められるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「19 花いっぱいプロジェクト」

教材名：花いっぱいプロジェクト	
主題名：学校を愛する心	内容項目：C（15）よりよい学校生活 集団生活の充実

- 1 **ねらい** 学校に愛着や誇りを持ち、その一員として、よりよい校風をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を見て、教材への関心を高める。

- ① 「どんな学校でしたか」「生徒たちはどのように世話をしていますか」など質問をし、内容を確認する。

- ・花で溢れている学校だ
- ・校務員さんと生徒たちでお世話をしている

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 「花の学校」の花壇をつくるために、大変だなと思ったことはどんなことでしょうか。

- ・ポット一万個にプランター千個分の土を作ること。量も大変だけど花作りの土台だから
- ・三万株の花の水やりや草むしり。時間がかかるし草むしりには終わりが無い
- ・どれも一人ではできないし、誰かやらない人が出てくる人が出てくるかもしれない みんなの心を一つにすることが大変だと思った

- ③ 生徒たちは、なぜこんなに大変な苦勞をして「花いっぱいプロジェクト」の取組を行っているのでしょうか。

- ・花いっぱいの学校を自慢に思っているから
- ・真平さんと先輩たちが、毎年続けて取り組んできたから
- ・12連覇してきた伝統を、ここで終わらせるわけにはいかないから
- ・花いっぱいの学校は、たくさんの先輩たちがつないできたバトンだから

◇ 自分を振り返って考える。

- ④ 私たちの学校は、どんな「〇〇の学校」といえるでしょう。そのために自分たちがしていること、できることはどんなことでしょうか。

- ・「挨拶の学校」です さわやかなあいさつができることだから 気持ちの良い挨拶が広がるように、クラスや生徒会や部活動で取り組んでいます
- ・「ぴかぴかの学校」です 無言掃除の取組で、一人一人がどこをどうきれいにするかを考え、頑張っています その姿を先輩たちも見て頑張ってくれているから ぴかぴかの学校が続いているのだと思います

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、「『花の学校』と地域から親しまれてきた学校があります。どんな学校なのか見てみましょう。」と投げかけ、映像資料及び教材への関心を高める。
- ・②で大変さの理由を中心に考えることができるように、教材の読み聞かせの際に主な作業を板書に位置付けていってもよい。
- ・③では、一人一人が責任を持ってやり遂げること、その個人の力が集団の大きな力になって「花の学校」のバトンをつなぎ続けていることから、集団の在り方や校風について多様に考えられるようにする。

4 参考資料 ・映像資料集2（中学校）「19 花いっぱいプロジェクト」

教材名：昭和九年の大水害	
主題名：郷土に尽くす	内容項目：C (16) 郷土の伝統と文化の尊重 郷土を愛する態度

- 1 **ねらい** 郷土を作り上げてきた先人の努力を知り、尊敬と感謝の念を深めるとともに郷土の発展に努めようとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをG Tと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 「ふるさと・郷土」への思いについて話し合う。</p> <p>① 自分のふるさとであるこの地域について、どのような思いを持っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいところがたくさんあるので、愛着がある ・この地域について考えたことがなく、自分のふるさという実感がない <p>◇ 映像資料を見たあと、教材を読んで話し合う。</p> <p>② どうして外次は自分の生活を投げうってまで郷土のために尽くすことができたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かが力を尽くさないとこの問題は解決しないと思ったから ・今こそ地域のために立ち上がらなければいけないと感じたから ・自分の町を何とかして復興させると共に、二度とこんな思いを子孫にさせたくないと思ったから <p>③ 外次の「ふるさと・郷土」に対する思いについてどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことよりも、郷土のためにここまで尽くしたのはすごい ・地域のために自分の全てを投げ打ってでも尽くすことは、なかなかできることではない 外次の思いを理解することは難しいが、そんな人がいたからこそ地域がよりよくなっていくのだと感じた <p>◇ G Tの話を聞く。</p> <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ 郷土のために今、自分たちはどんなことができるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアでゴミ拾いなどをする ・郷土のことを調べ、よいところを発信する ・イベントや行事などに参加して地域を盛り上げる

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、「自分の会社も大変な時期なのにどうして？」というような補助発問を用意しておくとうい。
- ・終末では、G Tに話をしてもらって他、地域に尽力した様々な人物を紹介することも考えられる。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「20 昭和九年の大水害」

教材名：昭和九年の大水害	
主題名：よりよい地域のために	内容項目：C（16）郷土の伝統と文化の尊重， 郷土を愛する態度

- 1 **ねらい** 地域社会のために尽力した先人の生き方や考え方を知ることを通して、尊敬と感謝の念を深めるとともに郷土の発展に努めようとする実践意欲と態度を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を見て、昭和九年の大水害について知る。

- ① 映像を見て、どう思いましたか。
- ・大きな被害があって、大変だっただろう
 - ・あんな大きな岩が動いたとは、かなり大きな洪水だったのだろう

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 泥の海となった町の様子を見て、外次はどんな気持ちだったのだろうか。
- ・あのふるさとの景色はどこへ行ってしまったのだろうか
 - ・これからどうしていけばいいのだろうか ・何とかしなければいけない
- ③ 息子の長一郎に「考え直して下さい。」と懇願されたとき、外次はどんなことを考えていただろう。
- ・会社も大変な時期だと分かっているし、家族にも迷惑がかかるだろうでもやらなければならないことなのだ
 - ・息子の気持ちも分かるが、自分しか改修工事をする者がいない
 - ・もうあの地獄を見たくない 自分が動くしかない
 - ・反対する気持ちも分かるが、なんとしてもやり遂げたい
- ④ 外次の生き方や考え方について、あなたはどう思いますか。
- ・自分のことよりも、郷土のためにここまで力を尽くしたのはすごい
 - ・自分が決めたことをやり通す信念が素晴らしい
 - ・ここまで郷土のことを思う気持ちの強さに感動した

◇ 自分の生活を振り返る。

- ⑤ あなたは地域社会の一員として何かしていることはありますか。または、これから地域社会のためにできることは何だと思えますか。
- ・お祭りの時は、毎年獅子舞に出ている これからも続けていきたい
 - ・地域のボランティア活動にこの前参加したが、地域の人々がすごく喜んでくれた
 - ・特別な行事には参加していないけれど、地域の人に会ったら挨拶をしたり話をしたりはしている これからは〇〇にも参加してみたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③の補助発問として「何もそこまでする必要が本当にあるか」という問いで揺さぶるのも効果的である。
- ・⑤では、外次のような大きなことではなくても、自分たちのできる範囲で関わっていくことが地域の発展に繋がることをおさえる。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「20 昭和九年の大水害」

21 A案

教材名：初心忘るべからず	
主題名：伝統を伝える	内容項目：C（17）我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度

- 1 **ねらい** 我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、その価値を継承し、新たな文化を創造していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 我が国の伝統や文化について話し合う。</p> <p>① 能について知っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢に能楽堂ってあるらしいよ・お面をつけて、着物を着ている・昔から伝わっているもの <p>◇ 映像資料「初心忘るべからず」を視聴し、能や狂言について知った後、教材を読んで話し合う。</p> <p>② 藪さんの生き方を支えているものは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・能に関わってくれている人への感謝の思い・観てくれる人に伝統芸能の美しさや楽しさを少しでも分かって欲しいという思い・能を好きになってほしいという思い・日本人の心を理解してほしいという思い <p>③ 藪さんの生き方についてあなたはどう思いますか。理由も合わせて発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・すごいと思う なぜならば自分の好きな能の道を究めたから・自分はまねできないと思う なぜならば成功するかしないか分からないのに、教師を辞めて、能に人生をかけているのが信じられないから・能に対する深い思い入れがすごい なぜそんな思いになるのか分からない <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ あなたが伝統や文化を守っていくために大切にしていきたいことはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・伝統や文化を体験したり、触れたりすること・伝統や文化の良さを知り、人に伝えられるようにすること・どんな伝統や文化があるのか調べること・歴史を学び、本物を観て、自分が伝統や文化を知ること

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、P 6 2の写真を見せながら問いかけることによって、舞っているときの心情をじっくりと考えられるようにしたい。
- ・④では、生徒の意見が多様に広がるのが考えられるが、藪さんの生き方を踏まえて考えさせることで、内容項目との関連性を図るようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「21 初心忘るべからず」

21 B案

教材名：初心忘るべからず	
主題名：伝統を伝える	内容項目：C (17) 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度

- 1 **ねらい** 我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、その価値を継承し、新たな文化を創造していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 映像資料を視聴し、能や狂言について知った後、我が国の伝統や文化について話し合う。</p> <p>① 我が国の伝統や文化を体験したり、触れたりしたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・音楽の授業で長唄をうたった・お祭りで浴衣を着た・輪島塗のはしを使っている・書道を習っている <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 次の世代や他の国へ我が国の伝統や文化を伝えることは、なぜ大切なのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・650年もずっと変わらない良さがあるから、無くさず受け継ぎたいから・無くしてしまったものは、簡単には元に戻らないから・これまでそれを支えてきた人々の努力や思いが詰まったものが文化で、それを伝えることはその思いを伝えることでもあるから・日本を知ってもらうことで、日本人の考え方も伝わり理解されるから <p>③ 「昔の人の心を感じながら、今を生きる」とは、どういうことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・昔から受け継がれている伝統文化の心を大切にしながらも、現代や海外の人々にもそれが伝わるようにしていかなければならないということ・大切な部分はきちんと残しながら、時代に合わせて新しい部分も取り入れていくこと・一人一人が伝統文化の良さを知って、次の世代につなげていこうとする気持ちをもつこと まずは、自分たちがよさを知ろうとすることが必要 <p>◇ G Tの話聞く。</p> <p>◇ 自分自身を見つめる。</p> <p>④ 今日の授業で考えさせられたことや、感じ取ったことを振り返ってみましょう。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、個人思考後、グループ交流と全体交流を取り入れ、多様な考えに触れさせるとよい。
- ・G Tには日本の伝統や文化に関わっている方を招き、その素晴らしさやそれを継承し、発展させていくことへの思いを話していただくことで、伝統や文化を継承し、新たな文化を創造していこうとする気持ちが高まるようにしたい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「21 初心忘るべからず」

教材名：禁酒の碑	
主題名：郷土を愛する心	内容項目：C (16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度

- 1 ねらい 郷土を作り上げてきた先人への尊敬の気持ちと、地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、進んで大切にしていこうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 自分たちの住む地域の良さを想起する。</p> <p>① 自分たちが住んでいる地域の良いところは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで住みやすい ・昔からの伝統行事〇〇がある ・名産の〇〇があるよ <p>◇ 映像資料を視聴し、教材を読んで話し合う。</p> <p>② 村長から禁酒を言い渡されたとき村民はどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなこと無理だし、やりたくない ・自分たちの楽しみをうばうようなことをしようというのか ・お祭りや婚礼ではお酒はつきものなのに、できるわけがない <p>③ 村民達は、どうして禁酒を受け入れ、20年間も禁酒し続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供は村の宝なので、その子供たちのための学校を作ってあげたかったから ・河合谷村を大切にしたいから、そしてそれを子供たちにも伝えたいという思いがあったから ・学校は地域にとって大切なものであるから ・できあがった立派な校舎を見て、自分たちの誇りであると思ったから <p>④ 卒業生達は、この禁酒の碑をどんな思いで見ていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先人の努力はすごいなあ ・河合谷村とその子供たちを大事にしていたのだろうなあ ・学校がなくなっても、思いをしっかりと受け継いでいきたい <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>⑤ 地域で大事にしていることは何でしょうか、また自分が参加したり協力したりしてきたことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇大会を毎年楽しみにしているよ、毎年参加している ・地域の一斉清掃活動に、毎年参加しているよ <p>◇ GTの話聞く。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では教材の内容理解のために、映像資料の紙芝居のところまで視聴する。
- ・終末では、GTとして、地域の伝統行事や公民館活動など地域の活動に寄与している方に話をさせていただく。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「22 禁酒の碑」

教材名：禁酒の碑	
主題名：郷土を愛する心	内容項目：C (16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度

- 1 ねらい 郷土を作り上げてきた先人への尊敬の気持ちと、地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、進んで大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 自分の生活を振り返る。</p> <p>① 生活の中で、自分が我慢したり、禁止したりしていることが何かありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームは一日1時間までに決めている ・甘い物は食べないようにしている ・夜9：00以降はTVを見ないで勉強するようにしている <p>◇ 映像資料を視聴し、教材を読んで話し合う。</p> <p>② 教材を読んで、心が動かされたところはどんなところでしょう。また、それはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村長が、村民に反対されても「子どもは村の宝物じゃ」といって説得したところがすごいと思った ・お酒を飲まないだけでなく、守るための約束を決めて、徹底して禁酒を守ったところで、全員が子どものためにと、納得して頑張ったからすごいと思った ・8軒の酒屋さんが、自主廃業してまで協力したところで、自分の職業よりも村で決めたことを守ろうとする結束の強さを感じた <p>③ 「禁酒」によって、村の大人たちが子どもたちに見せた姿勢（考え方）はどのようなものだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の子どもたちによりよい環境で学び、大きく成長して欲しいという思い ・自分の住む村のために、村民全員が協力をし、やり遂げようとする姿 ・村の将来のために目先の楽しみよりも、未来を大切に思うことの大切さ <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ 今、あなたが地域の大人だとしたら、大人としてどのような姿を子どもたちに見せたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人としてお手本になるような行動をしたい ・地域の活動に、自分から進んで参加し、協力したい ・地域の祭りの世話をして、自ら盛り上げていきたい <p>◇ 「私たちの道徳」P200を読み、今日学んだことを書く。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では、地域の大人の立場から考えさせるようにすることで、日頃は気付かないようなことに目を向けたり、考えたりできるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「22 禁酒の碑」

教材名： “いしかわ” と “ISHIKAWA”

主題名： 世界の中の日本人

内容項目： C (18) 国際理解, 国際貢献

- 1 **ねらい** 世界の中の日本人としての自覚をもち、自国の特徴や他文化への理解を深めようとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 国際交流の場を想起し、自分の対応について考える。

① あなたの家に外国人留学生がやって来ることになりました。あなたは、ホストファミリーとして、どのように関わりますか。

- ・観光名所につれて行く（兼六園、神社、寺、白山、美術館、博物館等）
- ・伝統工芸の体験をする（金箔、友禅、和太鼓演奏、能等）
- ・市場へ行き、日本の食文化を紹介する

◇ 教材「外国の人から見た“いしかわ”のよさ」を読んで話し合う。

② ジャスティンさんは、どうして日本（石川）のよさに気付くことができたのでしょうか。

- ・日本の文化を学ぼうとする姿勢があったから
- ・自分の国のことだけでなく、日本の文化（異文化）に対する理解があったから

◇ 実際に国際交流している映像（映像資料2 小学校高学年）を視聴し、国際理解の大切さについて考える。

③ 世界の人と関わる時、どんなことが大切でしょう。

- ・表面的な日本のよさだけでなく、日本人の内にある素晴らしさを感じてもらうようにする
- ・自分が日本（石川）について学び、そのよさに誇りをもつことができれば、世界の人々に伝えることができる
- ・ジャスティンさんのように、自分たちも外国の方のことを理解することで、互いの理解が深まる

◇ 再度、国際交流の場を想起し、自分の対応について考える。

④ もう一度考えてみよう。あなたの家に外国人留学生がやって来ることになりました。あなたは、ホストファミリーとして、どのように関わりますか。

- ・観光名所や伝統文化について事前に調べ、その良さを知った上で、一緒に出かけたり体験したりする
- ・ゲストがどんなことを期待しているのかを知った上で、一緒に考えながら、互いのよさを伝え合うようにする

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③では、「日本のことを知ってもらおうという一方的な態度で、日本のよさを伝えることができるのかな」と補助発問し、相互理解の必要性に気付くようにする。
- ・④では、導入での発問を再度活用することで、本時における変容を捉えられるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校高学年）「22 ぼくの中のイタリア」

23 B案

教材名：“いしかわ”と“ISHIKAWA”	
主題名：日本人としての自覚	内容項目：C（17）我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度

1 ねらい 日本人としての自覚を深めることで、国を愛する心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをG Tと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 日本や日本人のよさについて考える。</p> <p>① 日本や日本人のよさは、どんなところだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 治安が良いところ・ 礼儀正しいところ・ 歴史的な建物や文化・ 食べ物が美味しい
<p>◇ 生徒作文「静の内にある力強さ」を読んで話し合う。</p> <p>② 「私」は、日本や日本人のよさをどんなところだと思っているのでしょうか。その「私」の考えを、あなたはどのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 物静かで慎重なところ 私も、それは日本人の素敵などころだとは思いますが、時には自分の考えを主張するのも必要ではないか・ 礼儀正しく思いやりのあるところ 東日本大震災の時も、世界中の人から高く評価されたこういう部分を大切にしたい・ 「静」の内にある力強さをもっているところ ただ静かなのではなく、内に力強さをもっているのがいいと思う
<p>◇ A L Tが日本で暮らしている中で感じていることについて話を聞く。</p>
<p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>③ 授業を通して考えたことを伝え合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日本の伝統や文化について、もっと知ることが大切だ・ 日本には日本らしいよさがあるから、それを誇りに思いたい・ 日本のよさを理解するためにも、外国のことを学ぶことが必要だ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ③では、A L Tから外国と日本の違いや、日本のよさに触れた体験等を伝えてもらうことも考えられる。

4 参考資料

- ・ 映像資料集2（小学校高学年）「22 ぼくの中のイタリア」